

## 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

### 1. 研究課題名

アジア系アメリカ人および他人種における肝疾患の疫学、自然経過および臨床転帰

### 2. 研究の対象患者

肝疾患を有する18歳以上の患者さん

### 3. 研究の対象期間

1990年1月以降

### 4. 研究の概要

現在米国には1400万人のアジア人が在住しており、多くはウイルス系肝炎流行地域からの移民である。アジア人において、B型ウイルスは末期肝疾患及び肝癌の主要要因であり、C型肝炎は肝疾患罹患率及び死亡率の主要因である。

C型肝炎はタイ、モンゴル、インドネシア等の東アジア、東南アジア諸国に於いてB型肝炎と同様またはそれ以上の発症が見られる。C型肝炎遺伝子型の違いはアジア人と非アジア人を比較した場合顕著であり、またアジア系の各人種の間でも大きな差がある。C型肝炎遺伝子6型は非アジア人には稀だが、タイ北部およびベトナム系アメリカ人には珍しくない。アフリカ系アメリカ人におけるC型肝炎の自然経過と抗ウイルス治療の効果は過去に調査、報告されている。しかし、C型肝炎の自然経過およびインターフェロン治療の効果を調査する臨床研究は、主に非アジア人を対象にしており、アジア人および遺伝子4型、6型のC型肝炎患者における抗ウイルス治療の自然経過は研究が少ない。あるアジア系アメリカ人肝癌患者の研究では、80%が慢性肝炎患者で、C型肝炎患者は20%であることが報告されている。

アジア系アメリカ人における肝疾患の疫学研究の不足のため、この後ろ向きコホート研究では、アジア人におけるウイルス性肝炎、C型肝炎遺伝子型、肝癌発症率、抗ウイルス治療の結果といった肝疾患の分布を非アジア人と比較して調査する。

### 5. 研究実施予定期間

2020年9月16日～記録調査終了時点

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

治療、診断に際し得た情報(データ、書類、記録、サンプル)

### 7. 外部への試料・情報の提供

研究対象者の情報は各共同研究機関において収集し、各施設にて匿名化する。匿名化したデータを主施設に提供する。

### 8. 研究組織

スタンフォード大学、スタンフォード病院とクリニックおよび共同研究施設

### 9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院旭中央病院

・研究責任者：消化器内科 糸林詠

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

スタンフォード大学医療センター 消化器・肝学教授 ミンディ グエン